

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 学校法人 近畿大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Clinical outcome of radiation therapy for esophageal cancer between 2004 and 2008: second survey. (Poster)	Nishimura Y, Jingu K, Itasaka S, Negoro Y, Murakami Y, Karasawa K, Kawaguchi G, Isohashi F, Kobayashi M, Itoh Y, Ariga T.	the 56th Annual Meeting of the American Society for Radiation Oncology, San Francisco, USA	Sept 14-17, 2014	国外
Clinical results of definitive chemoradiation therapy for T4 esophageal cancer. (Poster)	Ishikawa K, Tatebe H, Matsuura T, Tachibana I, Yokokawa M, Nakamatsu K, Kanamori S, Nishimura Y.	the 56th Annual Meeting of the American Society for Radiation Oncology, San Francisco, USA	Sept 14-17, 2014	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Guidelines for diagnosis and treatment of carcinoma of the esophagus April 2012 edited by the Japan Esophageal Society.	Kuwano H, Nishimura Y, Oyama T, Kato H, Kitagawa Y, Kusano M, Shimada H, Takiuchi H, Toh Y, Doki Y, Naomoto Y, Matsubara H, Miyazaki T, Muto M, Yanagisawa A.	Esophagus	2015年	国外
Clinical results of definitive-dose (50 Gy/25 fractions) preoperative chemo-radiotherapy for unresectable esophageal cancer.	Ishikawa K, Nakamatsu K, Shiraishi O, Yasuda T, Nishimura Y.	Int J Clin Oncol	2014年	国外

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 学校法人川崎学園 川崎医科大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除を行った胃穹隆部GISTの1例（ポスター）	繁光薫, 石田尚正, 高岡宗徳, 林次郎, 吉田和弘, 浦上淳, 山辻知樹, 羽井佐実, 猶本良夫	第87回日本胃癌学会総会	2015年3月	国内
食道癌術後再建胃管癌症例の検討（ポスター）	山辻知樹, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 深澤拓也, 林次郎, 繁光薫, 吉田和弘, 浦上淳, 中島一毅, 森田一郎, 羽井佐実, 末廣満彦, 河本博文, 猶本良夫	第87回日本胃癌学会総会	2015年3月	国内
超音波内視鏡下針生検にて診断し得た食道神経鞘腫の2切除例（ポスター）	山辻知樹, 谷口美季, 磯田竜太郎, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 深澤拓也, 林次郎, 繁光薫, 浦上淳, 吉田和弘, 中島一毅, 森田一郎, 羽井佐実, 猶本良夫	第76回日本臨床外科学会総会	2014年11月	国内
待機的食道胃管吻合の効用と工夫（口頭）	繁光薫, 磯田竜太郎, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 深澤拓也, 林次郎, 吉田和弘, 浦上淳, 中島一毅, 山辻知樹, 羽井佐実, 森田一郎, 猶本良夫	第76回日本臨床外科学会総会	2014年11月	国内
食道癌転移診断におけるPET-CT偽陽性症例の検討（ポスター）	山辻知樹, 磯田竜太郎, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 深澤拓也, 林次郎, 繁光薫, 吉田和弘, 浦上淳, 中島一毅, 森田一郎, 羽井佐実, 白川靖博, 猶本良夫	第52回日本癌治療学会学術集会	2014年8月	国内
パラチノースを糖質源とした経腸栄養剤MHN-01/02を用いた食道癌周術期栄養管理（口頭）	山辻知樹, 石田尚正, 高岡宗徳, 林次郎, 繁光薫, 浦上淳, 吉田和弘, 白川靖博, 羽井佐実, 猶本良夫	第69回日本消化器外科学会総会	2014年7月	国内
後縦隔経路再建胃管に発生した胃管癌に対する低侵襲手術術式における工夫（口頭）	繁光薫, 石田尚正, 高岡宗徳, 林次郎, 吉田和弘, 浦上淳, 山辻知樹, 羽井佐実, 猶本良夫	第69回日本消化器外科学会総会	2014年7月	国内
食道癌術後リンパ節再発に対する強度変調放射線治療IMRTとサルベージリンパ節郭清術（ポスター）	山辻知樹, 石田尚正, 高岡宗徳, 繁光薫, 羽井佐実, 猶本良夫	第68回日本食道学会学術集会	2014年7月	国内
大腸癌術前に偶然発見され、同時切除した頸胸境界部食道神経鞘腫の1例（ポスター）	高岡宗徳, 吉田和弘, 石田尚正, 平林葉子, 林次郎, 繁光薫, 浦上淳, 山辻知樹, 羽井佐実, 猶本良夫	第68回日本食道学会学術集会	2014年7月	国内
一般総合病院での食道癌手術治療についての考察（ポスター）	羽井佐実, 酒井亮, 光岡晋太郎, 高岡宗徳, 繁光薫, 林次郎, 浦上淳, 吉田和弘, 山辻知樹, 猶本良夫	第68回日本食道学会学術集会	2014年7月	国内
胸三角皮弁を用いて修復を行った食道癌術後食道胃管吻合部気管瘻の1例（ポスター）	繁光薫, 高岡宗徳, 山辻知樹, 羽井佐実, 猶本良夫	第68回日本食道学会学術集会	2014年7月	国内
食道癌肉腫の2切除例（口頭）	山辻知樹, 磯田竜太郎, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 深澤拓也, 林次郎, 繁光薫, 吉田和弘, 浦上淳, 中島一毅, 森田一郎, 羽井佐実, 猶本良夫	第57回関西胸部外科学会学術集会	2014年6月	国内

左側臥位胸腔鏡下食道切除における胸管温存の手技(要望ビデオセッション)	繁光薫, 高岡宗徳, 山辻知樹, 中島一毅, 羽井佐実, 猶本良夫	第57回関西胸部外科学会学術集会	2014年6月	国内
早期胃癌食道癌同時性重複癌の手術戦略(ポスター)	羽井佐実, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 林次郎, 深澤拓也, 繁光薫, 浦上淳, 吉田和弘, 山辻知樹, 中島一毅, 森田一郎, 酒井亮, 光岡晋太郎, 猶本良夫	第114回日本外科学会定期学術集会	2014年4月	国内
免疫調整流動食MHN-02を用いた食道癌術後栄養管理(ポスター)	山辻知樹, 磯田竜太郎, 田村卓也, 石田尚正, 平林葉子, 高岡宗徳, 深澤拓也, 林次郎, 繁光薫, 浦上淳, 吉田和弘, 中島一毅, 森田一郎, 羽井佐実, 猶本良夫	第114回日本外科学会定期学術集会	2014年4月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Feasibility of oral administration of S-1 as adjuvant chemotherapy in gastric cancer: 4-week S-1 administration followed by 2-week rest vs. 2-week administration followed by 1-week rest.	Tomoki Yamatsuji, Yasuhiro Fujiwara, Hideo Matsumoto, Shinji Hato, Tsutomu Namikawa, Kazuhiro Hanazaki, Munenori Takaoka, Jiro Hayashi, Kaori Shigemitsu, Kazuhiro Yoshida, Atsushi Urakami, Futoshi Uno, Masahiko Nishizaki, Shunsuke Kagawa, Motoki Ninomiya, Toshiyoshi Fujiwara, Toshihiro Hirai, Masafumi Nakamura, Minoru Haisa, <u>Yoshio Naomoto</u>	MOLECULAR AND CLINICAL ONCOLOGY	2015年2月	国外
A case report of isolated presacral squamous cell carcinoma developed four years after gastrectomy.	Kaori Shigemitsu, Naomasa Ishida, Yoko Hirabayashi, Munenori Takaoka, Jiro Hayashi, Takuya Fukazawa, Kazuhiro Yoshida, Atsushi Urakami, Tomoki Yamatsuji, Kazutaka Nakashima, Ichiro Morita, Minoru Haisa, <u>Yoshio Naomoto</u>	Kawasaki Medical Journal	2014年12月	国外
Guidelines for Diagnosis and Treatment of Carcinoma of the Esophagus April 2012 edited by the Japan Esophageal Society.	Hiroyuki Kuwano, Yasumasa Nishimura, Tsuneo Oyama, Hiroyuki Kato, Yuko Kitagawa, Motoyasu Kusano, Hideo Shimada, Hiroya Takiuchi, Yasushi Toh, Yuichiro Doki, <u>Yoshio Naomoto</u> , Hisahiro Matsubara, Tatsuya Miyazaki, Manabu Muto, Akio Yanagisawa	Esophagus	2014年11月	国外
食道癌術後合併症に伴う血小板減少症に対し、ステロイド投与が奏効した症例	高岡 宗徳、繁光 薫、山辻 知樹、落合 陽子、花崎 元彦、片山 浩、山根弘路、猶本 良夫	ICUとCCU	2014年10月	国内

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

様式第 19

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
化学放射線療法を用いた食道がん治療の新展開 StageI食道癌に対する根治的放射線療法の効果 手術との比較検討（口演）	山本 幸子, 矢野 雅彦, 石原 立	JDDW2014	2014年10月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Endoscopic optical diagnosis provides high diagnostic accuracy of esophageal squamous cell carcinoma.	Nagai K, <u>Ishihara R</u> , Ishiguro S, Ohta T, Kanzaki H, Yamashina T, Aoi K, Matsuura N, Ito T, Fujii M, Yamamoto S, Hanaoka N, Takeuchi Y, Higashino K, Uedo N, Iishi H, Tatsuta M, Tomita Y, Matsunaga T.	BMC Gastroenterol.	2014年	国外
Endoscopic submucosal dissection for superficial Barrett's esophageal cancer in the Japanese state and perspective.	<u>Ishihara R</u> , Yamamoto S, Hanaoka N, Takeuchi Y, Higashino K, Uedo N, Iishi H.	Ann Transl Med.	2014年	国外

（注1）発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

（注2）本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

様式第 19

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 国立大学法人 長崎大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Prevention of post-ESD stricture by steroid administration and endoscopic transplantation of tissue-engineered autologous oral mucosal epithelial cell sheets.	Isomoto H, Yamaguchi N, Fukuda H, Nakao K, Kobayashi K, Kanetaka K, Eguchi S, Kanai N, Ohki T, Yamato M, and Okano T	International Digestive Endoscopy Network 2014, Seoul	2014年5月	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Prevention of esophageal strictures after endoscopic submucosal dissection.	Kobayashi S, Kanai N, Ohki T, Takagi R, Yamaguchi N, Isomoto H, Kasai Y, Hosoi T, Nakao K, Eguchi S, Yamamoto M, Yamato M, Okano T.	World J Gastroenterol.	2014年	国外

（注1）発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

（注2）本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 学校法人北里研究所 北里大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ケモセクションに基づいた個別化医療の臨床試験 - CROC試験 - (パネルディスカッション)	堅田親利, 小森承子, 片田夏也	日本放射線腫瘍学会第27回学術大会	2014年12月	国内
Organ preservation strategyとしての導入化学療法後の化学放射線療法の実施可能性. JDDW2014「化学放射線療法を用いた食道がん治療の新展開」(口演)	堅田親利, 小森承子, 片田夏也	JDDW2014	2014年10月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Association between pharmacokinetic variables and neutropenia after treatment with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Sugawara M, Katada C, Komatsu T, Takahashi K, Azuma M, Higuchi K, Koizumi W, Atsuda K.	Esophagus	2014年	国外
Definitive chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (DCF-R) in advanced esophageal cancer: a phase II trial (KDOG 0501-P2).	Higuchi K, Komori S, Tanabe S, Katada C, Azuma M, Ishiyama H, Sasaki T, Ishido K, Katada N, Hayakawa K, Koizumi W.	Int J Radiat Oncol Biol Phys	2014年	国外
Neoadjuvant chemotherapy using concurrent Docetaxel/CDDP/5-FU (DCF) in esophageal squamous cell carcinoma and its short-term prognosis.	Katada N, Yamashita K, Katada C, Moriya H, Hosoda K, Mieno H, Higuchi K, Komori S, Ishiyama H, Hayakawa K, Sugawara M, Tanabe S, Koizumi W, Kikuchi S, Watanabe M.	Esophagus	2014年	国外

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

様式第 19

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 国立大学法人 富山大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Molecular profiling of resected esophageal cancer and its correlation with clinical (ポスター)	Yokota T, Serizawa M, <u>Hosokawa A</u> , Kusafuka K, Mori K, Sugiyama T, Tsubosa Y, Koh Y.	American Society of Clinical Oncology, Chicago	2014年	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
DCF療法が奏効し根治的化学放射線療法で完全奏効が得られた進行食道がんの1例	吉田 啓紀, 細川 歩, 中田 直克, 鈴木 庸弘, 南條 宗八, 植田 亮, 金 辰彦, 三原 弘, 安藤 孝将, 藤浪 斗, 梶浦 新也, 西川 潤, 小川 浩平, 杉山 敏郎	腫瘍内科	2014年	国内

(注1) 発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

(注2) 本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

様式第19

学会等発表実績

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 千葉県がんセンター

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
治療前生検の発現プロファイリングによる食道扁平上皮癌の内因性サブタイプの同定（口演）	三梨桂子、武藤学、佐々木博己	第22回日本消化器関連学会週間	2014年9月	国内
化学放射線療法の感受性が異なる食道がんサブタイプの発見（口演）	青柳一彦、三梨桂子、小島隆嗣、矢野友規、玉置将司、小松崎理絵、千脇史子、大津敦、吉田輝彦、山田康秀、武藤学、佐々木博己	第73回日本癌学会総会	2014年9月	国内
食道がんの内因性サブタイプの同定とオーダーメイド医療（口演）	佐々木博己、三梨桂子、青柳一彦、玉置将司、小島隆嗣、矢野友規、加藤健、山田康秀、大津敦、武藤学	第12回日本臨床腫瘍学会	2014年7月	国内
治療前生検の発現プロファイリングによる食道扁平上皮癌の内因性サブタイプの同定（口演）	三梨桂子	第68回日本食道学会学術集会	2014年7月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
なし				

（注1）発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

（注2）本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

様式第19

学会等発表実績

委託業務題目「難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究」

機関名 石川県立中央病院

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
80歳以上の超高齢者に対する食道扁平上皮癌ESDの治療成績と予後の検討（口演）	中西宏佳, 太田亮介, 大村仁志, 竹田康人, 辻国広, 富永桂, 吉田尚弘, 松永和大, 辻重継, 竹村健一, 山田真也, 岡田俊英, 土山寿志	第100回日本消化器内視鏡学会北陸地方会	平成26年11月	国内
悪性食道狭窄に対するステント留置の成績（口演）	竹村健一, 太田亮介, 大村仁志, 竹田康人, 中西宏佳, 辻国広, 富永桂, 吉田尚弘, 松永和大, 辻重継, 山田真也, 岡田俊英, 土山寿志	第103回日本消化器内視鏡学会北陸地方会	2014年6月	国内
食道・胃ESDにおける静脈麻酔の術中および術後合併症の検討（口演）	太田亮介, 朝日向良朗, 土山寿志	第87回日本消化器内視鏡学会総会	2014年5月	国内
当科における食道癌悪性狭窄に対するステント留置の成績（口演）	竹村健一, 太田亮介, 竹田康人, 中西宏佳, 辻国広, 富永桂, 吉田尚弘, 辻重継, 山田真也, 土山寿志	第15回北陸食道疾患懇話会	2014年4月	国内
病変部位別にみた食道ESD術後狭窄についての検討（口演）	竹村健一, 山田真也, 土山寿志	第100回日本消化器病学会総会	2014年4月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
なし				

（注1）発表者氏名は、連名による発表の場合には、筆頭者を先頭にして全員を記載すること。

（注2）本様式はexcel形式にて作成し、甲が求める場合は別途電子データを納入すること。

